

ぼくのおしごと

一宮南部小・2 中村 まはる

「うぎやあ、うぎやあ！」

朝、赤ちゃんのなき声でおきます。六月に生まれたばかりの弟のなき声です。おなががすいてないています。

ミルクをあげると、ゴクッゴクッと、いっしょうけんめいのみます。口からミルクがたれてくると、ぼくの出番です。ティッシュでやさしくふいてあげます。

「お兄ちゃん、ありがとうね。」

と、お母さんがえがおで言うので、うれしくなります。

はじめてぼくがミルクをあげたとき、弟の頭をささえるうでがおもくて、のみおわるまでささえることができず、くやしかったです。

小さくてふにやふにやなのに、ずしっとおもくてびっくりしました。すぐにお母さんと交たいしました。

弟のおむつの黄色い線が青くなっているのもチェックしています。青い線はおしっこが出ているサインです。弟がくしゃみをしたときに、おむつチェックをして体にさわったら、ふくがぬれているのに気がつきました。

「よく気がついてくれたね。ありがとうね。」

と、お母さんにほめられました。

おしりふきやほにゅうびん、おせわにひつようなものをはこんだり、お父さんが弟のもくよくをしているのを見まもっていたりしま

す。お手つだいをする二人とも、えがおで

「ありがとう。」

と、言ってくれるので、また弟のためにがんばろうと思います。

弟がりにゅう食を食べるときは、ぜったいにぼくが、「あーん」をして食べさせてあげたいです。おふろもいっしょに入って体をあらってあげたり、きがえも手つだってあげたりしたいです。

もっと大きくなったら、やってあげたいことがたくさんあります。まずは、ぼくの大すきなきょうりゅうのお話をしたいです。きょうりゅうの絵本や図かんをたくさん読んであげて、きょうりゅうずきの子にしたいです。外に出て、こん虫をとりに行きたいです。せみとせみのぬけがらをたくさんあつめたいです。

もっと大きくなって、ボールであそべるようになったら、バスケットボールをしたいです。いっしょにボールであそんで、バスケットボールのルールを教えて、ワンオンワンでしあいができるようになりたいです。

弟が生まれて一か月になりました。はじめて会ったときより大きくなって、ほっぺやあごが、ぷにぷにしている、とつてもかわいいです。おきている時間もふえて、弟の手にさわるときゆつとゆびをにぎってくれたり、ぼくの顔をじつと見つめてくれたりします。毎日弟のやわらかいほっぺをさわっていやされています。

今は、もくよくがおわって、みじかい時間スイマーバといううきわで、いっしょにおふろに入っています。おとうとの体をあらうときのお湯をおけに入れて、お母さんにわたすお手つだいをします。

音の鳴るおもちゃで弟をあやしていたら、はじめてにこつとえがおを見せてくれて、

「今、わらったよ。」

と、さけんでお父さんとお母さんをよびました。弟をえがおにでき
て、とてもうれしかったです。

ぼくが、弟のおせわのお手つだいをすると、お母さんも、お父さ
んも、

「ありがとう。」

と、言ってくれてえがおになります。みんなをえがおにするのが、
ぼくのおしごとです。